

取締役頭取
三井 精一

経営理念と経営方針

当行は、昭和26年に「宮城県の中小企業金融の円滑化」を目的に宮城県知事の提唱のもと、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。

行是「信を万事の本と為す」を基本精神に、宮城県内に密着した営業展開を図り、地元の皆様とのより高い信頼関係の構築に努め、「地域から最も信頼され、地域に最も貢献する銀行」をめざしております。地域金融機関として産業の育成、地域貢献を通して豊かな地域環境づくりのお役に立ちたいと考えております。

当行では、平成14年4月より平成16年3月までを計画期間とする経営計画「ステップ・アップ・プラン」に役職員一丸となって取り組んでおります。

本計画は、「収益力の強化と企業風土の改善・改革」を主要目標に掲げ、様々な課題に対して積極的に挑戦することにより、地域金融機関として新たな時代への経営基盤を着実に築きあげていくことを狙いとしています。

平成14年度は、目標達成に向けた基本3戦略「営業戦略」、「業務再構築戦略」、「人材育成戦略」に基づき各種施策を展開してまいりました。特に、急速に変化する金融環境に対応すべく業務運営システムの抜本的な再構築を進めてまいりました。

平成15年度は、「ステップ・アップ・プラン」の目標達成に向け「コンプライアンスの徹底とリスク管理体制の充実」を経営の根底に据え、引続き諸施策の実践に邁進してまいります。

経営理念

地域から
最も信頼され、
地域に
最も貢献する
銀行

経営の効率化と自己資本の拡充を図り、競争に打ち勝つ銀行となる。

県内の中小企業と個人層に特化した、地域密着型銀行となる。

堅実な経営に徹するとともに説明責任を全うし、信頼され支持される銀行となる。

「ステップ・アップ・プラン」の概要

計画期間
(平成14年4月から平成16年3月まで)

目標:「収益力の強化と企業風土の改善・改革」

環境の変化に対応しうる企業風土への改善・改革
人材育成の強化
組織・機構の改善・改革

コア業務純益40億円に向けた体制づくり
収益業務の選択と集中
業務運営システムの再構築

健全経営を堅持し、「地域との共存、地域への貢献」を担う
銀行の公共的使命と社会的責任の再認識
内部監査体制の充実・強化

目標達成に向けた基本3戦略

営業戦略

個人向けローン市場への傾注
フィービジネスの拡大・強化
コンサルティング営業の強化
事業融資ビジネスの再構築
ペイオフ対策

業務再構築戦略

業務運営システムの再構築
本部機構の見直し
営業店・店舗外ATM体制見直し
IT技術の活用による新業務への対応
グループ連携の強化

人材育成戦略

新人事制度導入・適正運用
融資能力・コンサルティング能力の向上
業務の多様化・高度化への対応

リスク管理体制の強化

コンプライアンスの徹底

平成14年度 「ステップ・アップ・プラン」諸施策の実施状況について

1. コア業務純益40億円に向けた体制づくり

(1) 集中選択する分野の組織強化

平成14年8月の本部組織改編により、収益の柱である個人向けローン及び事業向け融資業務の機能強化を図るため、本部関連部署の組織強化を実施いたしました。

(2) 新たな業務推進手法の導入

マーケティングに基づくマスセールス手法の拡大(個人向けローン)、信用格付制度に基づくリスクプライシングの運用開始(事業向け融資)等、新たな業務推進手法を漸次、開発・導入いたしました。

(3) 営業店業務の効率化

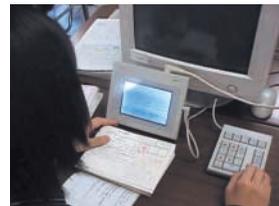
営業店業務の効率化を図るため、不動産担保評価システム、為替イメージ処理、印鑑検索システム等の新たな業務システムを導入いたしました。



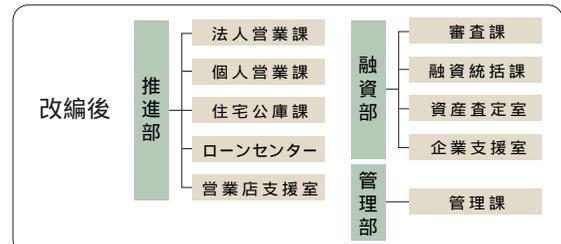
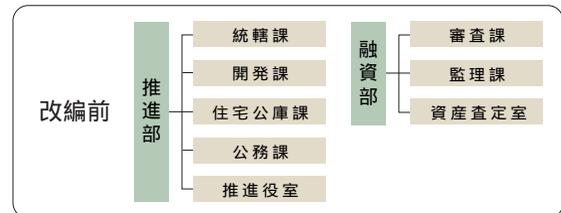
為替イメージ処理システム



印鑑票登録システム



印鑑検索システム端末



本改編後の当行本部組織は、8部・17課・6室・1センター・1事務所となりました。詳細は、28ページの組織図をご覧ください。

2. 環境の変化に対応しうる企業風土への改善・改革

(1) 人材育成の強化

平成14年11月に複線型人事制度を導入するとともに、併せて給与制度等を改定いたしました。新制度の定着と適正運用に向けて、考課者訓練、新人事考課制度のトライアル・臨店指導を実施いたしました。



若手行員を対象とした融資渉外研修会



(2) 融資、FP能力のアップ

既存の行内研修について、研修内容、運営方法、効果等の観点から抜本的な見直しを開始いたしました。また、本部関係部署が多面的に連携し、行員の融資、FP能力のアップに向けて、新たな研修会や営業店支援策を実施いたしました。

融資渉外研修会(基礎コースカリキュラム)	
第1回	融資調査の基礎
第2回	財務分析(資金繰り分析)・企業法務
第3回	財務分析(資金繰り分析)・企業法務
第4回	不動産担保評価・企業法務
第5回	不動産担保評価・企業法務
第6回	自己査定及び総括

(3) 組織機構等の改善改革

組織・機構並びに業務運営手法の見直しのスピードアップを図るため、平成15年2月に「業務再構築プロジェクトチーム」を設置いたしました。

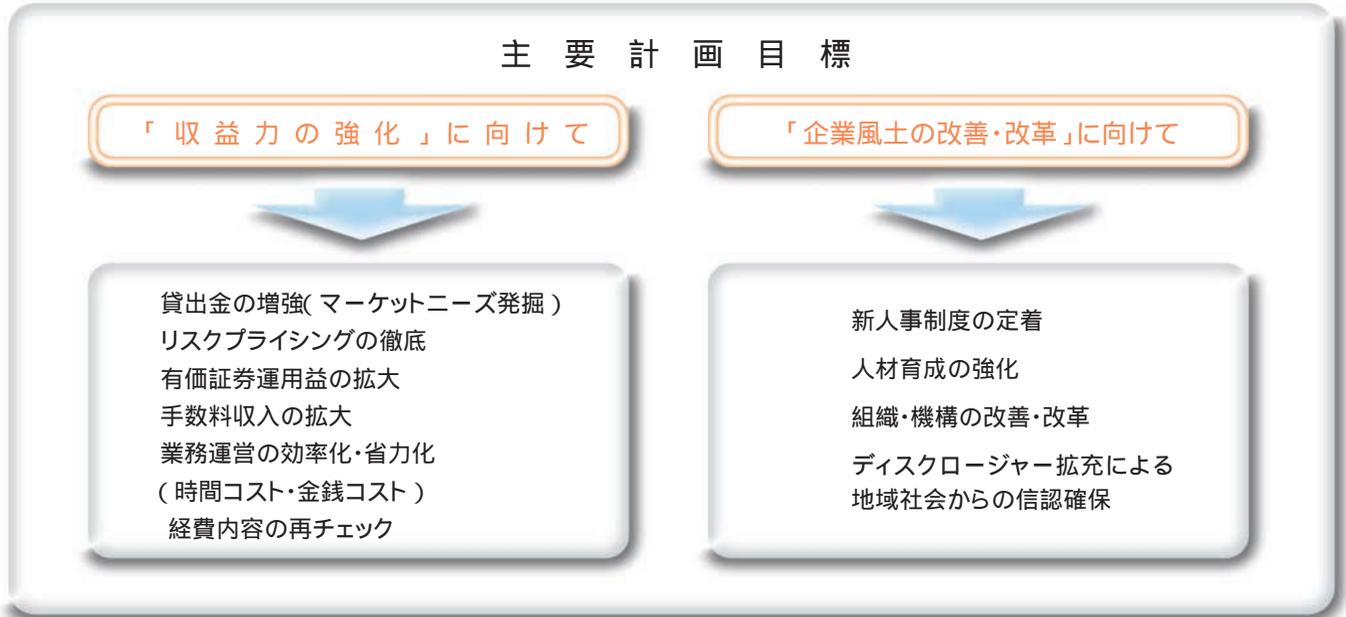
3. 健全経営を堅持し、「地域との共存、地域への貢献」を担う

(1) コンプライアンスの徹底 平成14年度から、関連会社職員等も含めてコンプライアンスの一層の徹底を図りました。

(2) リスク管理体制の充実 営業店を対象に収益管理研修等を継続するとともに、新たに「営業店収益管理システム」を開発(平成15年4月運用開始)いたしました。

平成15年度 「ステップ・アップ・プラン」計画推進について

平成15年度は「ステップ・アップ・プラン」の最終年度として、本計画の主要目標である「収益力の強化」と「企業風土の改善・改革」の実現にむけて邁進いたします。



重点項目

1. 業務運営システムの再構築 ~ マーケットニーズの発掘、業務運営手法見直し ~
新たなマーケットニーズを掘り起こせる業務推進手法や商品開発等にチャレンジし、コア業務純益40億円に向けた収益体制づくりを進めます。
また、既に導入した業務システムについて、所期の投資効果が得られるよう、必要とする改善・修正を加えながら行内に着実に定着させてまいります。
2. 新人事制度の定着と適正運用 ~ 中長期的な視点に立脚した人材育成の実践 ~
企業風土とは、組織を構成する「人材」と「組織運営の仕組み」によって中長期的に醸成されていくものです。平成15年度は、新人事制度の定着、本部・営業店の組織・機構の改善・改革、業務運営手法について、再構築を強力に推し進めてまいります。
3. コンプライアンスの徹底とリスク管理体制の充実 ~ 経営健全化の堅持、地域社会からの信認確保 ~
企業活動の根本である「コンプライアンス」と「リスク管理」を一層充実・徹底いたしてまいります。CS(顧客満足)や事務処理の基本を確認・徹底し、「地域社会からの信認」を得られるよう役職員全員で努めてまいります。

配 当 政 策

当行は銀行業の公共性と健全経営確保の観点から、適正な内部留保の充実に配慮しつつ、安定した配当維持に努め、長年にわたり1株50円の普通配当を継続してまいりました。

今後とも徹底した効率化を推進し、経営体質の強化と業績の向上に努め、安定的な配当を継続するよう努めてまいります。